

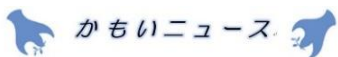
2023年10月1日

聖餐礼拝

①10:30 ②13:00

司会：① 神田健博 ② 森屋邦夫

プレイズ		
黙祷/祈禱		(司会者)
主の祈り		(起立)
聖書	使徒行伝 20 章 25-32 節	
誕生祝福		
メッセージ	神の指(Fingerprints of God)シリーズ 91 柴田順一 牧師 「その恵みの言葉」 "Purchased by Blood"	
祈禱		
頌栄	十字架にイエスキミ [聖歌 402]	(起立)
祝禱		(牧師)
アナウンス		
聖餐式		



- ◇ Welcome Home! 本日、YC カフェ は礼拝後にオープンします。
- ☕ ブルーマウンテンブレンド ☕ アイスアッサムティー [各¥100]
- ◇ 本日は世界聖餐デーです。礼拝後に聖餐式を行います。洗礼(バプテスマ)を受けておられる方は、案内に従い講壇前で聖餐をお受けください。式中、会堂前方では祈り心で、会話や挨拶等はお控えくださいますよう。
- ◇ 今週木曜発行のタウンニュースに「心のエステ」が掲載されます。
- ◇ 聖書ガイド「リビングライフ 10月号」(¥700)販売中。残り僅かです。
- ◇ 礼拝献金、什一献金等は、受付前の木製献金箱をご利用ください。
- ◆ 当教会の開拓期にご奉仕下さった新武琴子宣教師が9/25に召天され、告別式が大和教会で行われました。「琴子先生、ありがとうございました！」

集 会	本日 10:30~	キッズチャーチ	4F 集合
	水曜 19:30~20:30	バイブルラウンジ	4F
アクティビティ	本日 11:45~	執事会	5F
	火曜 10:00~12:00	子育て広場プレイルーム	5F
	土曜 13:30~14:00	礼拝堂お掃除	4F 集合

今私は、あなた方を神とその恵みの御言葉に委ねます。御言葉は、あなた方を成長させ、聖なるものとされた全ての人々と共に、あなた方に御国を受け継がせることができますのです。使徒行伝20:32【新改訳】



## 「神有月の秋桜」

今日より10月。衣を赤や黄色に染める山々をこの目に、コオロギや鈴虫の音をこの耳に、秋の到来を感じる頃である。秋の花と言えば、「秋桜」と書いて「コスモス」。秋の桜とは、自然を愛する私達日本人にとって何と美しい情景であろうか。しかし、これは昭和52年に生まれた当て字なのである。嫁いで行く娘が涙をこぼす母を思い、その切ない気持ちを歌った昭和の名曲「秋桜」。当時18歳の山口百恵さんのために、さだまさしさんが作詞作曲した曲である。◆若い人の中では、「本気」と書いて「マジ」と読んだり、「恋敵」と書いて「ライバル」であったりと多くの当て字があるが、コスモスを「秋桜」と綴るとは見事としか言えない。今では広く愛され一般化して、「秋桜」はもう当て字とは呼べない。Wordの文字変換も「コスモス」と打てば「秋桜」と真っ先に出る。それは曲題だけでなく、歌詞にも「薄紅」(うすべに)や「小春日和」(春ではなく、はだ寒い秋日の間に現れる春のような暖かい日)など、美しい言葉やラインで満ちている。◆できればその美しすぎる歌詞を紹介したいが、以前、西野カナさんの「トリセツ」に感動してここで紹介したら、JASRAC(日本音楽著作権協会)から、「ご紹介してくださり大変ありがたいのですが」の一言と共に請求書が送られて来た。あのJASRACが教会の牧師コラム欄まで読んでくれるとは、これも「大変ありがたい」のであるが、やはり微妙でもあった。

そもそもコスモス(Kosmos)とは、新約聖書の書かれたギリシャ語で「美しい」とか「調和」「秩序」という言葉であって、ご存知の通り、英語では宇宙も同じコスモス(Cosmos)である。それは、私達の小さな足元に咲く「秋桜」も、仰ぎ見る無限の「宇宙」も、秩序と調和の美しさをもって、これを創造した神の存在を私達に伝えているのである。10月を神がない月「神無月」と呼ぶなんて有り得ない。秋は美しすぎる神でどこも満ち溢れているではないか!

### 今週の聖書通読【箴言】 リビングライフ 10月号

1	日	1:1-19	知恵の有益
2	月	1:20-33	愚かな者と立ち返る者
3	火	2:1-22	人生の選択とその結果
4	水	3:1-10	恵みとまことがとどまる人生
5	木	3:11-26	必ず得るべき知恵
6	金	3:27-35	隣人に善を知恵
7	土	4:1-9	知恵を教える父
8	日	4:10-27	心、知恵の道



秋桜  
Cosmos